

阿漕ヶ浦公園



(写真提供：東海村)

東海村村松の沼「阿漕ヶ浦」^{あこぎがうら}は、隣接する「大神宮」の神池です。地の底で「泉が森」(日立市水木町)に通じているとも伝えられ、古くから崇められてきました。また、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、日本原子力発電株式会社、日本電信電話株式会社へ分水し、エネルギーの開発の源となった沼でもあります。現在、沼畔には「おいもの公園」の愛称で親しまれる「阿漕ヶ浦公園」が整備されています。

「おいもの公園」という愛称は、同村の特産品「さつまいも」をモチーフにした大型遊具に由来します。同園の遊具広場には、幼児用遊具のエリア(3歳~6歳児を対象)と児童用遊具のエリア(6歳~12歳児を対象)があるほか、おむつ交換台のある多目的トイレや授乳室、休憩ルームが入った休憩施設も設置され、保護者が安心して子どもたちを見守ることができる「安全な遊び場」を目指しています。

また、同園は、サッカー場としても使用できるホッケー場のほか、野球場、一周1.2kmのウォーキングコースなど、スポーツ施設も充実しています。もともとは、1974年に開催された「国民体育大会」のホッケー競技会場として整備された公園で、「いきいき茨城ゆめ国体2019」の開催に合わせ、リニューアルされました。

そのほか、園内には多種多様な樹木が植栽されており、季節ごとに違った風景が楽しめます。特に桜の時期ともなると、約200本のソメイヨシノが園を取り囲むように咲き誇り、毎年3月下旬から4月上旬にかけて開催される「東海さくらまつり」は、多くの人で賑わいます。また、期間中は日没から20時まで桜のライトアップが行われるため、東海十二景の一つである「阿漕ヶ浦夜桜」^{あこぎがうらやおう}の幻想的な美しさが楽しめます。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、今年の東海さくらまつりはライトアップのみとなりますが、ご家族やごく親しいご友人とともに同園に訪れ、咲き誇る桜を愛でながら暖かい季節の到来を感じてみてはいかがでしょうか。

東海スマートIC
常磐自動車道
久慈川
東海村役場
東海駅
阿漕ヶ浦公園
佐和駅
常磐線
常陸那珂港IC
国営ひたち海浜公園
ひたちなか市役所
勝田駅
ひたち海浜公園IC

《Information》

- ◆所在地
茨城県那珂郡東海村村松579
- ◆アクセス方法
 - ・電車：JR常磐線東海駅からタクシー利用で約10分
 - ・車：常磐道東海スマートICから約15分
常陸那珂有料道路常陸那珂港ICから約10分